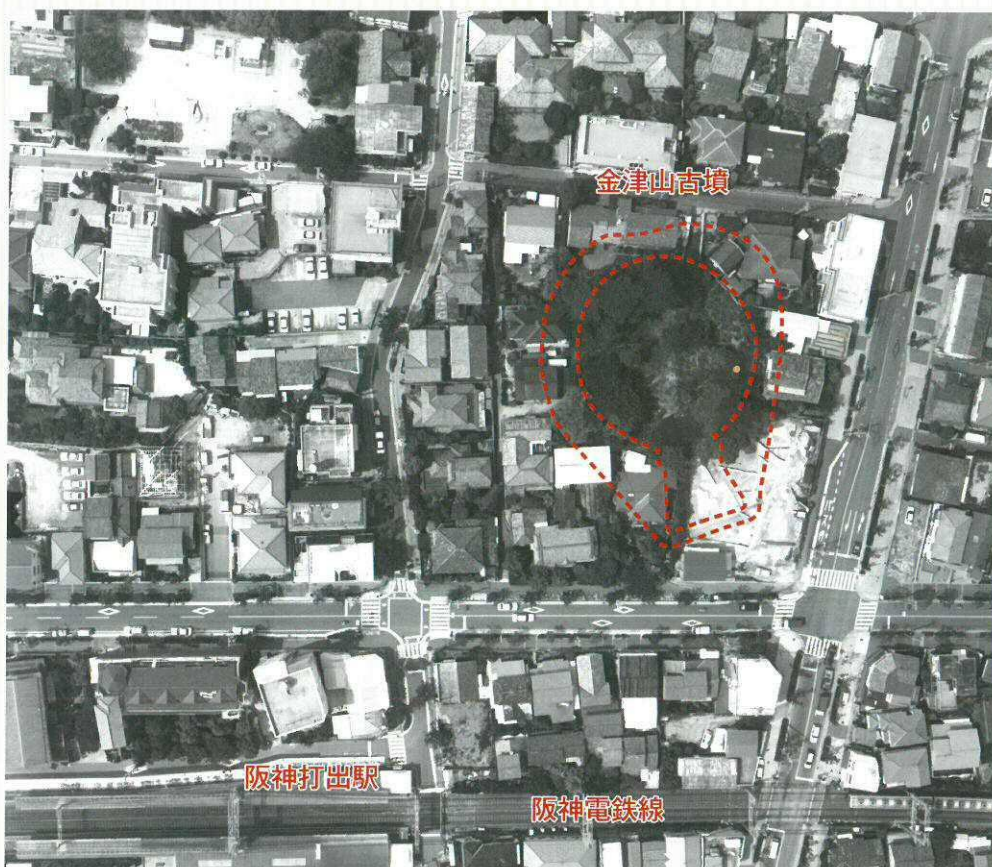


芦屋市指定史跡

かな つ やま こ ふん  
**金津山古墳**

KANATSUYAMA BURIAL TOMB



金津山古墳を上空より望む（平成2年撮影）

**1** かなつやまこふん  
**金津山古墳が造られた時代**

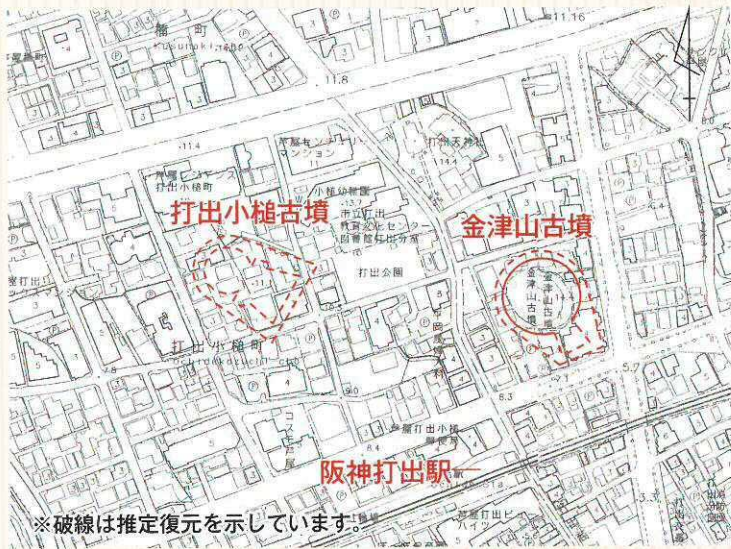
かなつやまこふん かすがちよう  
金津山古墳（春日町）が造られたのは、約1500年前の古墳時代です。当時、今の奈良県を中心に強大な権力をもった「ヤマト政権」と呼ばれる政治集団がありました。このヤマト政権のシンボリックなお墓の形が“前方後円墳\*1”であり、全国で5000基以上みついています。前方後円墳は、ヤマト政権の許可なく造ることができなかつたため、金津山古墳に眠っている人物は、ヤマト政権とつながりの強い豪族だつたと考えられています。

古墳って  
なんですか？

古墳時代の大王や豪族  
のお墓のことだよ







金津山古墳は、阪神打出駅から北東方向へ約100mの場所にあり、現存する後円部が見学できます。  
 なお、打出小槌古墳は、残っていません。



ふきいし はにわ  
 葺石や埴輪が出土しています

## 2 芦屋市指定史跡 かなつやまこふん 金津山古墳

- 所在地：あしやしかすがちよう 芦屋市春日町
- 築造時期：古墳時代中期後半(5世紀後半)
- 大きさ：墳長約55m、後円部径約42m
- 指定年月日：平成22年(2011)3月19日

前方部が通常の前円後円墳より短い、帆立貝のような形をしています。古墳の斜面には、ふきいし 葺石\*2が貼り付けてあったことがわかっています。

前方部は鎌倉時代(約700年前)に削られ、現在は高さ約4.4mの後円部しか残っていません。後円部には、ひつぎ 棺が納められています。

## あら、近くにこんな古墳もあったの!?

## 3 うちでこづちこふん 打出小槌古墳

- 所在地：あしやしいうちでこづちちよう 芦屋市打出小槌町
- 築造時期：古墳時代中期末(5世紀末)
- 大きさ：墳長約58m、後円部径約28m

室町時代頃(約500年前)に墳丘が削られ、現在は住宅地になっています。しかし、発掘調査によって、しゅうごう 周濠がみつかりました。



はにわ  
 打出小槌古墳からも埴輪がたくさんみつかりました



## 4 ハニワたちが語るもの

埴輪は、粘土で作られた焼き物で、さまざまな形のものがあります。その中で多いのが円筒埴輪で、金津山古墳や打出小槌古墳からもたくさん出土しています。円筒埴輪は、古墳の墳丘上に囲いのように立て並べられていました。

### 円筒埴輪たち



### ★ちょっと珍しい埴輪たち★

円筒埴輪以外にも、人物や動物、家、盾などをかたどった形象埴輪があります。

金津山古墳からは、鶏形埴輪の頭部分や人物埴輪などが出土しています。打出小槌古墳からは、顔に入れ墨を施し（黥面），“ふんどし”をしめた人物埴輪などが出土しています。

こけこっこー

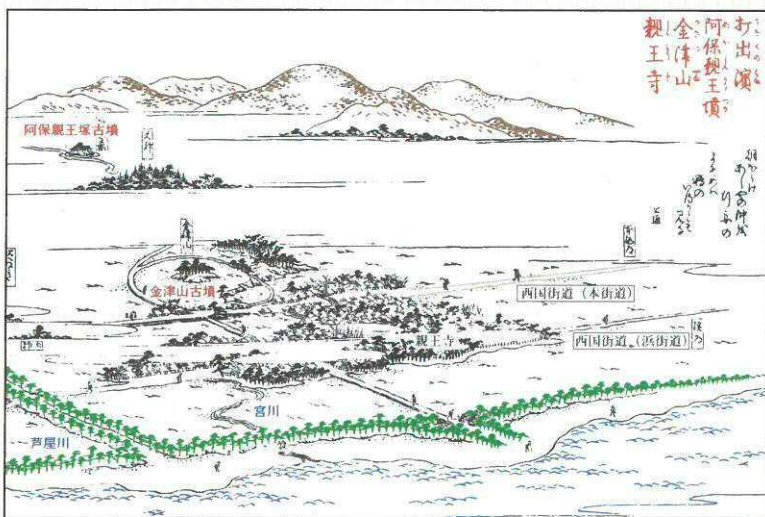


出身地：金津山古墳  
お名前：鶏形埴輪  
動物の種類：ニワトリ  
コメント：なぜ、ニワトリってわかるかって？トサカがついていたあとが残っているんです。

僕の職業は何だったのでしょうか？



出身地：打出小槌古墳  
お名前：人物埴輪  
職業：海の男「海人」  
とも力士とも考えられています。手に持っているものがポイントになりそう。なにかしら？



江戸時代の地誌『摂津名所図会』に描かれた金津山古墳（寛政8（1796）年刊行、〔臨川書店 1996〕に加筆・改変。）

### 江戸時代には 観光スポットだった!!

左の絵は、江戸時代出版された『摂津名所図会』（当時の旅行ガイドブック）の一場面で、打出界隈の名所として、金津山古墳や、北側にある阿保親王塚古墳（翠ヶ丘町）などが描かれています。



## 金津山の黄金伝説

金津山古墳は、別名「黄金塚」（こがねづか）。「金塚」（かなづか）とも呼ばれていました。そして、これらの名称の由来となった、次のような伝説があります。

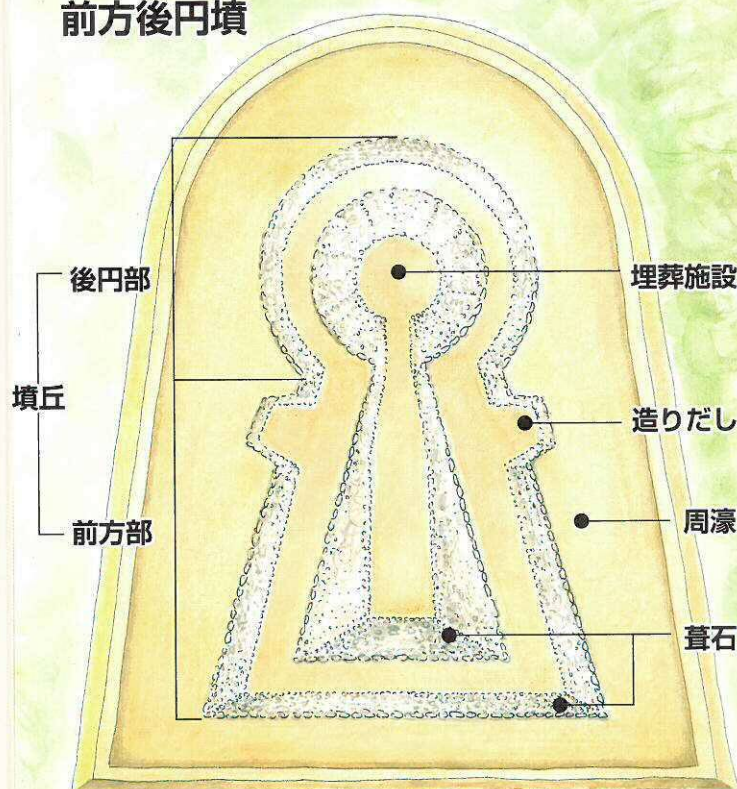
平安時代（約一二〇〇年前）、阿保親王（あへしんのう）（平城天皇の皇子で、歌人・在原業平の父親）の別荘が打出にありました。阿保親王は村人たちを愛し、この村に飢饉（うい）が起こったときのために備えて、金瓦一万、黄金一千枚を埋めたと伝えられています。

また、江戸時代には打出の村人が、「朝日さす入日かがやくこの下に、金千枚、瓦万枚」と歌っていたそうです。

このような伝説から、黄金が埋まっている古墳ということとで、「金津山」「黄金塚」などと呼ばれるようになりました。



### 前方後円墳



### 用語解説

\* 1)  
ぜんぼうこうえんぶん  
**前方後円墳**—左の図のような形をした古墳です。主に後円部に遺体を埋葬します。兵庫県下では、約300基みついています。

つく  
**造りだし**—一部の前方後円墳にある、マツリ（さいし）を行ったと考えられる場所です。打出小槌古墳にもあったと考えられています。

しゅうごう  
**周濠**—墳丘を囲む堀のことです。

\* 2)  
ふきいし  
**葺石**—墳丘斜面などを覆う石のことです。古墳を美しくみせるためと、土が流出するのを防ぐ役割をしていました。

編集  
発行

芦屋市教育委員会社会教育部生涯学習課

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6 電話 0797-38-2115 FAX 0797-38-2072

平成29年(2017)3月31日発行